



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/~kivosedai/gyuuzakkuou/index.htm>

木枯らし1号と共にインフルエンザの「嵐」が…

11/3(月)に昨年より4日、一昨年より10日も早く、“木枯らし1号”が東京で吹きました。立冬(11/7)も過ぎて、暦の上でも季節は冬となりました。日暮れもだいぶ早くなり、冬至(12/22)までは、どんどん陽は短くなり、高さも低くなります。気象庁の中期予報では、暖かい秋から一転、11月は急激に気温が下がり、朝夕の寒暖差も大きく、12月は真冬並みの寒さになるとのことです。そして今年は、冬だけではなく、インフルエンザの流行も、早く来ています。11月現在で、すでに警戒レベルとなり、昨年よりも、ひと月ほど早いペースで感染が広がっているそうです。すでに都内でも学校閉鎖をしたとの話も聞きます。ピークが速く来るのも心配ですが、このままのペースで増え続けて大流行になることが、もっと心配です。



コロナ禍の大変だった記憶もだいぶ薄らいでいますが、その当時、「昔から言われてきた、手洗いやうがい、やっぱり感染予防の基本で、有効だ。」と実感したことは覚えています。インフルエンザが流行ってきている今こそ、感染予防の基本をしっかりとやってみましょう。

「うがい、手洗い」→ ①うがいで、ウイルスの侵入場所となる喉の粘膜の清潔を保つ

帰宅時・食事前

②手洗いで、感染経路の口・鼻に触れる機会が多い手の清潔を保つ

※石鹸をつけて、30秒以上の手洗いで、ほとんどウイルスは流せる

「マスクの着用」→ ①感染経路の口鼻を、飛沫や手の接触から防ぐ

人混み・風邪気味の時

②他の人のために、自分の飛沫を防ぐ

「換気、体調管理」→ ①室内空気の清潔を保つ、疲れをためずに免疫力を保つ

■木枯らしの中、疾風の如く～長距離走～ 2年生体育 11/11(火)

冷んやりとした風が吹くようになり、長距離走の季節となりました。10月下旬から、中・高・大学から社会人まで、駅伝大会開催が目白押しです。東京でも11/3は調布で高校、11/8は夢の島で中学の駅伝大会が実施されました。そして楽しみなのが1/2,3に行われる大学の箱根駅伝と、1/11,18に広島と京都で行われ、中高生と大学・一般の選手が襷を繋ぐ都道府県対抗駅伝です。

長距離走は体力向上、とりわけ持久力や心肺機能の向上を目指せる運動ですが、夏場は熱中症の心配もあり、学校の授業では、涼しくなる秋や冬に行うことが多いです。本校でも現在体育の授業で長距離走(距離を変えたり、時間走にしたりと色々な課題で走っています)に取り組んでいます。陸上競技や水泳競技の良いところは、大会などでも「自己記録」という言葉が良く使われるように、順位を競う競技でありながら、自分への挑戦という面があります。自分の努力や自分の成長がわかるのが良いところです。授業でも自己記録の更新を目標にしています。



■清瀬五中生の活躍のご紹介

【陸上競技】

おめでとうございます！

第78回東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

男子2年 110mH 第1位 ※家庭配布版では氏名を紹介しています。

※東京都中学校体育連盟陸上競技部の強化選手に推薦されました。



■「体育授業」のようす動画

2年生 1,000m 走の様子
動画です。右のQRコードより、ご覧いただけます。

※限定公開の設定です。

公開期間は～11/30(日)までです。



「木枯らし1号」：10月中旬～11月下旬の間に、西高東低の冬型の気圧配置となり、北より(西北西～北)の風で、最大風速が8m/秒以上で今季最初に吹く風のことです。 ※条件が満たせず、記録がない年もあります。

※訂正：前号の赤ちゃんにチカラプロジェクトの記事で、「26年と四半世紀になりました。」とご紹介をしました。が、「16年」の誤りでした。HPには、訂正したものを掲載いたしました。

11/17(月)の深夜～18(火)の明け方 が極大日

～ **しし座流星群** ☆≡ 今年の活動は、控えめ？ の予想です。～

毎年、11月中旬には、しし座流星群がやって来ます。流星の流れる数が一番多く極大となる日を「極大日」と言いますが、今年のしし座流星群の極大は、11/17(月)の深夜から18(火)の朝方までの予想です。活動期は11/6～30とされていますが、極大日の前後数日間は、活発に流れるので、**11/14(金)～20(木)の1週間くらいは楽しめます**。今年の出現数予想は、**1時間に10個程度と控えめ**ですが、この頃の月は、新月前の細い月で、月の出は朝4時過ぎのため、月明かりに邪魔をされないため観測日よりです。しかし、定期考査の初日でもあるので、試験勉強の息抜きに、暖かい格好をして、ベランダなどから夜空を見上げて下さい。流れ星が見られたらラッキー！テストで良いことが起こるかも？



【動画】しし座流星群
NHKアーカイブ
大出現！しし座流星群
<https://nhk.or.jp/archives/television/2000/>

☆≡ **9年後の「2034年」は、流星嵐(りゅうせいあらし)の予想！！**

しし座流星群は、過去に何回も、流星をたくさん降らせる「流星雨(りゅうせいう)」や「流星嵐(りゅうせいあらし)」と呼ばれる現象を起こしています。

★流星群は、「**彗星がばらまいた塵**」の群れ？

流星群の正体は、彗星が軌道上にばらまいたチリ(数ミリ～数センチの岩石などの粒子)の集団がある場所を地球が通過する時、チリが地球の大気に飛び込み、高速で落下する際に、大気との摩擦で高温になり、光り輝く現象です。

★レモン彗星では、流星群は、生まれない？

流星群になるには、彗星の軌道と地球の軌道が交差する必要があるため、どんな彗星でも起こるわけではなく、先日レモン彗星では起こりそうにありません。彗星の大きさは、数km～数十kmで、氷に塵(鉱物など)や二酸化炭素などのガスが混ざった状態の天体で、形はいびつなものが多く、イメージとしては「泥だらけの雪だるま」と表現されます。太陽に接近した時に熱であぶられて融け、ガスや塵が表面の割れ目から噴出して尾を作りながら、塵をばらまきます。上の写真は1986年にヨーロッパの探査機ジョットが撮影したハレー彗星の核です。表面は蒸発しなかった鉱物系物質が殻のようになって、内部の氷を覆い、想像よりも黒かったそうです。



★しし座流星群は、テンペル・タットル彗星が母天体

しし座流星群を作った彗星(母天体)はテンペル・タットル彗星です。公転周期は約33年で、太陽に近づいた際に大量の塵を軌道上にばらまき、それが徐々に広がっていくことを繰り返しています。そしてこの塵の集団も、彗星と同じように、太陽を公転し、約33年ごとにやって来て、地球がその塵の濃い場所を通過します。

☆≡ **33年ごとに、流星嵐が、発生！！ ～1時間に1,000個！！～**

確かに、しし座流星群は、古文書などに記録が残っているものだけで、1799年、1833年、1866年、1966年に、流星嵐が観察されています。最近では、1999年、2001年、2002年に、流星嵐が観測され、2001年11月18日深夜～19日未明には、日本でも1時間あたり1000個を超える流星が観察されました。東京は雲が多かったですが、それでも時おり雲間から明るい流れ星を見ることができました。**長野県の野辺山では、1分間で30個以上が観測できたとの報告がありました**。母天体のテンペル・タットル彗星は、2031年にやって来ます。そして、次回の流星嵐の発生予想は、**2034年～2037年**です。今から9年後が楽しみです。

詳しい説明知りたい方は、下のHPにアクセスしてみよう！

■国立天文台 HP ①「流星群とは」 <https://www.nao.ac.jp/astro/basic/meteor-shower.html>

②「彗星とはどのような天体か」 <https://www.nao.ac.jp/astro/basic/comet.html>

